

★自己紹介★

社会人になり三年目、林君は二年目になりました。  
当時は無電解 Sn-Ni めっきをテーマに卒業研究をしており、そのテーマを引き継いだのが後輩である林君でした。この、無電解 Sn-Ni めっきは松本研究室とサン工業との共同研究テーマにあたり、その第一人者が私、水品です。

◆松本研を卒業し、同じ会社に羽ばたいていった二人のその後◆

「サン工業について」

サン工業株式会社は長野県の伊那市にあるめっき専業社です(/・ω・)/



★水品編

私は、約 2 年の研修を経てから開発課に配属となり、今は研究開発などに携わっています。大学で化学を学び、最後の一年間でめっきを研究し、そのまま学んできたことを仕事に活かし、更には学生時代に研究していたテーマをまた、研究することができます。

学生時代の自分は、『モノづくりの基礎である化学を学び、その知識を活かしながらモノづくりに関わって世の中に貢献したい』そんな願望がありました。つい先日のことですが、学生時代から研究していた無電解 Sn-Ni めっきを、実際にお客様の元で評価していただき、「このめっきで是非量産をお願いしたい！」との声をいただくことができました。今こうして、研究開発をして‘めっき’という形で世の中にいいものをもっと出していきたい！そんな気持ちは変わっていませんし、ちょっとずつではありますがこの願いを実現できていると実感しています。

★林編

学生の頃には化学を活かした仕事に就いて研究開発をしてみたいと考えておりました。しかし、私は 1 年製造現場で研修をして、そのまま製造課へ配属となりました。

最初は開発課じゃないのか…と思ったりしましたが、いざ配属された部署は会社でも数少ない汎用ラインで、製造の中でも少し異質で試行錯誤の毎日でした。今では現場も任せられ、初めて持ち込まれた製品も自分で最適な方法を考えながら、現場をまわし、プライドをもって仕事に励んでおります。この先、自分がどのように成長していくが未知ですが、一人の職人として大成することが今の私の望みです。